

株式会社大阪アサヒメタル工場

2017 年度 環境活動レポート

(対象期間: 2017 年1月1日 ~ 2017 年12月31日)



作成日: 2018年4月1日

口ごあいさつ

企業の最大の目的として利潤を追求することがあげられますが、同時に社会に何らかの形で貢献することも大切な役割であると考え、従来より比較的公共性の高い当社製品の製造をもって皆さまの日々の生活にお役に立ってきたと考えております。しかしこれからの企業は、自社の事業活動の中で常に環境にやさしいもの造りを目指し、地域の環境保全、そして地球全体の環境保全に大きな貢献ができるように社員全員で高い意識を持って行動することが大切であると考え、全員一致のもと環境の保全に取り組んで参ります。

株式会社大阪アサヒメタル工場
代表取締役社長 安部 研

環境方針

基本理念

株式会社大阪アサヒメタル工場はホワイトメタル軸受、銅母合金、高融点活性合金・高純度合金、Uアロイ及び高純度金属メーカーとして、環境と事業活動の調和を図ることを基本理念とする。環境に配慮した事業活動と、地球環境及び地域社会環境保全のための活動を全社員一致団結し自主的・積極的に取り組みます。

環境方針

1. 地球温暖化防止のため電力・燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 節水活動により水使用量の削減に努めます。
3. 事業活動により発生する廃棄物の削減に努めます。
4. 化学物質の適正管理に努めます。
5. グリーン購入に努めます。
6. 製品・サービスの環境配慮として、お客様への納期厳守、不適合品の削減管理に努めます。
7. 環境関連の法規制及び当社で同意するその他の要求事項を遵守します。
8. この環境方針を全社員に対し周知するとともに、環境保全に対する意識向上のための教育を実施します。
9. 環境方針及び環境活動レポートを一般に公表いたします。

制定日：2015年11月2日

改定日：

代表取締役社長

安部 研

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社大阪アサヒメタル工場
代表取締役社長 安部 研

(2) 所在地

本社工場 大阪府大阪市西成区南津守3丁目1番17号
第2工場 大阪府大阪市西成区南津守6丁目5番7号
忠岡工場 大阪府泉北郡忠岡町忠岡南3丁目14番地73
神戸工場 兵庫県神戸市西区見津が丘5丁目5番地の4
MTセンター 大阪府大阪市西成区南津守5丁目4番21号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 高純度金属製造部課長 笹垣 通仁 TEL:06-6658-0101
担当者 高純度金属製造部 大羽 久雄 TEL:06-6658-0101

(4) 事業内容

ホワイトメタル軸受の製造及び販売
銅母合金、低融点合金、高純度金属の製造

(5) 事業の規模

製品出荷額 18 億円(2017年度)
主要製品生産量 軸受:約10000セット 合金、高純度金属:約400トン

	本社工場	第2工場	忠岡工場	神戸工場	MTセンター	合計
従業員	56	9	10	10	5	90
延べ床面積	2721	843	1000	740	462	5766

2017年12月31日現在

(6) 事業年度 1月1日～12月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名: 株式会社大阪アサヒメタル工場

対象事業所: 本社工場
第2工場
忠岡工場
神戸工場
MTセンター

活動: ホワイトメタル軸受の製造及び販売
銅母合金、低融点合金、高純度金属の製造

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,447,755	1,465,877	1,483,329
廃棄物排出量	kg	46,937	50,618	40,278
一般廃棄物排出量	kg	5,116	8,825	7,537
産業廃棄物排出量	kg	41,821	41,793	32,741
総排水量	m ³	15,155	13,441	13,931
化学物質使用量				
テトラクロロエチレン	kg	11,311	8,663	8,861
アンチモン	kg	5,445	3,820	4,807
インジウム	kg	895	791	665
カドミウム	kg	925	1,235	939
クロム	kg	12,400	11,600	12,600
コバルト	kg	9,000	7,500	7,189
セレン	kg	30	90	30
鉛	kg	2,075	2,082	1,044
ニッケル	kg	15,010	15,500	15,500
マンガン	kg	12,900	12,000	18,000

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.531 kg-CO₂/kWh

□環境目標及びその実績

項目	年度	基準値 (基準年度)	2017年		2018年	2019年
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	955,341	955,341	1,066,432	936,234	926,680
	基準年比	2014年	100%	112%	98%	97%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	397,544	377,666	350,462	373,691	369,716
	基準年比	2014年	95%	88%	94%	93%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	52,203	52,203	56,463	51,159	49,593
	基準年比	2014年	100%	108%	98%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	1,405,087	1,385,210	1,473,357	1,361,084	1,345,989
一般廃棄物の削減	kg	5,036	4,986	4,903	4,029	3,525
	基準年比	2014年	99%	97%	80%	70%
廃油(パークロ)の削減	kg	1,200	1,176	0	1,164	1,140
	基準年比	2014年	98%	0%	97%	95%
水道水の削減	m ³	13,465	13,330	13,931	13,196	12,792
	基準年比	2014年	99%	103%	98%	95%
パークロ使用量の削減	kg	11,450	11,107	8,950	10,992	10,878
	基準年比	2014年	97%	78%	96%	95%
グリーン購入の推進	%	—	50%	64%	60%	65%
製品・サービスへの環境配慮		ISO9001で実施・継続	ISO9001で実施・継続	ISO9001で実施・継続	ISO9001で実施・継続	ISO9001で実施・継続

※燃料の削減目標は、使用量の多い都市ガスと自動車燃料(ガソリン、軽油)に対して設定(上記二酸化炭素排出量は、灯油とLPG分を含んでおりません。)

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △さらに取組が必要 ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	×	生産体制が整うことで神戸工場の工作機械の稼働量が増加したことと、MTセンターにおけるMn製造装置の増設により全体の電力使用量が増加している。また、来年も増加する事が見込まれるが、節電に心がけ効率の良い電力使用に努めていくよう環境委員会等を通じ情報を発信していきます。
・空調温度の適正化	○	
・不要照明の消灯	○	
・空調機フィルターの定期清掃	○	
・高周波溶解炉上部にフタをする。	○	
都市ガスによる二酸化炭素削減		
数値目標	○	都市ガスの使用量の大部分が本社工場である。都市ガスを多く使用する焼鈍炉の稼働量が減少してきている為、都市ガス使用量も比例し減少してきている。目標は達成出来ているが、今後も効率の良い工程及び作業を推進し節ガスに努めていくよう環境委員会等を通じ情報を発信していきます。
・夏季の風呂はシャワーのみとする	○	
・Sn釜、Snメッキ槽上部に放熱防止対策を施す。	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	×	基準年と比較し108%と増加しているが、昨年との比較では約94%となっている。エコドライブ推進の効果であると思われる。今後も、エコドライブを推進し更なるガソリン及び軽油の使用量削減に努めていきます。
・エコドライブの推進	○	
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	ゴミの分別(リサイクル)による成果が徐々に見られるようになってきている。更に廃棄物の削減の為、ゴミの分別の徹底及びリサイクル化に努めていきます。
・分別の徹底	○	
廃油(パークロ)の削減		
数値目標	○	今年度は、パークロの廃棄がゼロであった。前処理脱脂装置の稼働率が少なかったことが要因としてあげられる。来年度もパークロ廃棄の推移を注視していくようにします。
・対策の実施、検証	○	
水道水の削減		
数値目標	×	毎年、MTセンターに各装置の導入が続いているが、基準年と比較し2015年:113% 2016年:100% 2017年103%と大きな使用量の変化は見られない。このことから、既存の設備における使用量は、減少(削減)出来ていると推測される。環境委員会等を通じ、更なる節水を推進していきます。
・節水の励行	○	
・夏季の風呂はシャワーのみとする	○	
・漏水管理(水道使用量の異常監視)	○	
パークロ使用量の削減		
数値目標	○	基準年と比較し、大幅に削減出来ている。しかし昨年の使用量と比較すると約1.1倍となっている。この使用量水準を維持できるの coming 年度も注視して行くようにする。増加するようであれば原因を探索し対応していくこととする。
・昨年の対策の有効性を検証する。	○	
グリーン購入の推進		
数値目標	○	事務用品においてグリーン購入は、定着してきていると思われる。今後もグリーン購入を推進し、事務用品以外でも可能なものについてはグリーン購入を推進していくよう努めます。
・事務用品のグリーン購入推進	○	
・その他のグリーン購入推進	△	
・事務用品のグリーン購入比率調査	○	
製品・サービスへの環境配慮		
不適合削減	○	各部署におけるQC活動により、今後も不適合の削減、クレームの削減に努めます。
クレームの削減	○	
社会貢献		
・忠岡工場周辺清掃	○	忠岡工場、神戸工場、MTセンター周辺の清掃を年末に実施しました。今後も定期的に工場周辺の清掃活動を実施致します。
・神戸工場周辺清掃	○	
・MTセンター周辺清掃	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(汚泥、廃ガラス、廃油等)
水質汚濁防止法、下水道法	金属洗浄等
毒物及び劇物取締法	Seの製造、硝酸、硫酸等
フロン排出抑制法	業務用空調機、チラー、ドライヤー
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	テトラクロロエチレン等
顧客要求事項	化学物質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等は過去3年間(あるいはこれまで)ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

年を追うごとに社員各自のエコアクションに対する認識が深まってきていて、自分の職場の中で環境保全のために何をどのようにすべきかという事についてより具体的にとらえる事ができるようになってきた。

部署毎に設定された目標に対し、徹底してそれに向かって行く情熱と根気が今後の成功の鍵となるように感じるので、大いに頑張っていたきたい。

□地域清掃活動



”忠岡工場周辺の清掃活動風景”



”神戸工場周辺の清掃活動風景”

2017年度は、忠岡工場・神戸工場・MTセンター周辺の清掃活動を実施致しました。今後も、地域清掃活動を継続し実施してまいります。

(株)大阪アサヒメタル工場の 環境配慮商品

環境にもやさしい

U-アロイ・eco

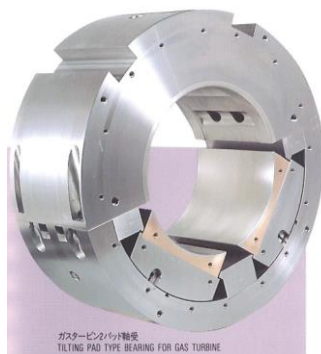
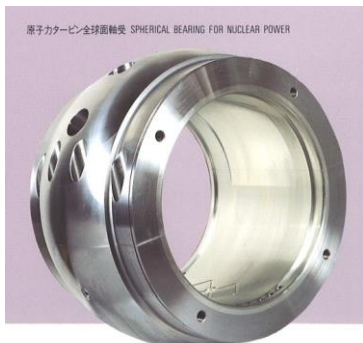
環境に配慮した
鉛・カドミウムフリー

7タイプをご用意しました。

	融解区域 (°C)	
	開始点	終了点
Type-16	16	16
Type-60	60	60
Type-72	72	72
Type-78	78.8	78.8
Type-109	109	109
Type-138	138	138
Type-150A	138.5	174

大阪アサヒメタル工場の主要商品

WHITE METAL BEARING



HIGH PURITY METALS

高純度金属



母合金

MOTHER ALLOYS



Ni(30%, 65%)	- Cu
Co(10%)	- Cu
Cr(5%, 10%)	- Cu
Mn(35%, 50%)	- Cu
Si(10%, 15%)	- Cu

ect.

詳しくは www.asahimetal.co.jp をご覧ください。